

2015 追悼特集

今年亡くなった作家や著名人を偲んで、
作品を紹介します。* () は命日

陳舜臣 (1/21)

小説家、歴史家、エッセイスト。『青玉獅子香炉』で直木賞受賞。他に『秘本三国志』、『山河あり』、『チンギス・ハーン一族』など著書多数。

火坂雅志 (2/26)

小説家。『天地人』で中山義秀文学賞を受賞、NHK大河ドラマの原作となった。他の著書に『左近』、『天下 家康伝』など。

船戸与一 (4/22)

小説家。『虹の谷の五月』で直木賞、『砂のクロニクル』で山本周五郎賞を受賞。

高橋治 (6/13)

小説家。『秘伝』で直木賞、『別れてのちの恋歌』で柴田錬三郎賞を受賞。他に『星の衣』、『雪』など。

赤瀬川隼 (1/26)

小説家。『球は転々宇宙間』で吉川英治文学新人賞、『白球残映』で直木賞を受賞。

松谷みよ子 (2/28)

児童文学作家。『龍の子太郎』で国際アンデルセン賞、『ちいさいモモちゃん』で野間児童文芸賞を受賞。

長田弘 (5/3)

詩人。『森の絵本』で講談社出版文化賞、『世界はうつくしいと』で三好達治賞を受賞。他に『深呼吸の必要』、『読むことは旅をすること』など。

阿川弘之 (8/3)

小説家。平成 11 年文化勲章受章。著書に『雲の墓標』『志賀直哉』など。エッセイに『食味風々録』など。阿川佐和子氏の父としても有名。

河野多恵子 (1/29)

小説家。『蟹』で芥川賞、『みいら採り猫奇譚』で野間文芸賞を受賞。

今江祥智 (3/20)

童話・絵本作家。『ぼんぼん』で日本児童文学者協会賞、『兄貴』で野間児童文芸賞を受賞。翻訳作品や評論も多数。

車谷長吉 (5/17)

小説家。『赤目四十八瀧心中未遂』で直木賞、『武蔵丸』で川端康成文学賞を受賞。他に『人生の四苦八苦』『世界一周恐怖航海記』など。

他にも…

吉行あぐり(1/5)、平井和正(1/17)、十代目坂東三津五郎(2/21)、白川道(4/16)、梶山俊夫(6/16)、鶴見俊輔(7/20)、柳原良平(8/17)

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

レイモンド・カーヴァー

(1938 - 1988 年 アメリカ・オレゴン州生まれ)

アメリカの詩人・小説家。短編小説の名手と言われ「オー・ヘンリー賞」を受賞。主な作品は『頼むから静かにしてくれ』など短編集や詩集を多数。生前、村上春樹と親交があり、日本語翻訳も多く手がけられている。

今回紹介する本は『必要になったら電話をかけて』(村上春樹／訳、中央公論新社)です。

子育ても終わり、それぞれに別の相手がいる夫婦が関係修復のために、ひと夏をカリフォルニアの田舎町で過ごすことにします。ハミングバードの訪れを喜んでみたり、犬を飼おうと話合ったり、仲の良い夫婦の姿がありました。しかし妻は偽りの関係に耐えがたくなります。愛し合っていたはずの夫婦はどのような結末を迎えるのでしょうか？他4編が収録された短編集です。

詩人が書いた文章らしく情景が絵のように浮かびます。そして村上春樹が愛した理由も垣間見ることができるでしょう。

(帷子分館 濱口)

ベルンハルト・シュリンク

(1944 年 ドイツ・ビーレフェルト生まれ)

ドイツの小説家、法学者。ハイデルベルク大学、ベルリン自由大学で法律を学ぶ。ノルトライン・ヴェストファーレン州の憲法裁判所判事などを務める。

ドイツでは学校の教材としても使われている『朗読者』(松永美穂／訳、新潮社)。あなたの愛した人が戦争犯罪者だったらどうしますか？

具合が悪くなった 15 歳の少年ミヒヤエルを助けたのは、母親程年齢の離れた女性ハンナだった。二人は愛しあうようになるが、ハンナは突然、何も言わずに姿を消す。そして、再びミヒヤエルの前に現れたハンナは、戦争犯罪裁判の被告人であった。

ユダヤ人強制収容所の看守として、他の看守より重い罪になり、無期懲役を言い渡されるハンナ。そして、恩赦で、刑務所から出られる日に自殺するハンナ。ハンナの生涯には、文盲というプライドをかけた哀しい秘密があった。獄中、ミヒヤエルの朗読したテープを聞きながら、文盲を克服したハンナ。最後に自らを裁いた決断に、言葉を失う。

(本館 松浦)

分類	書名	著者名	出版者名
情報・心理			
002.7/チ/	超メモ術 アイデアとメモとの関係性を説明した上で、アイデアを生み出しやすくするための習慣と、それに沿ったメモのとり方を解説。また、アイデアをカタチにしながらか第一線で活躍する5人のメモ&仕事術等を紹介する。	倉下忠憲/監修	玄光社
159/ウ/	困難な成熟 経験を積み重ねて、薄皮を一枚ずつ剥いでゆくように人は成熟してゆく…。労働とは何か？貨幣とは何か？会社とは何か？原理的な問いに内田樹が真剣に答える。メールマガジン連載を単行本化。	内田樹/著	夜間飛行
歴史・地理			
210.4/カ/	アジアのなかの戦国大名 大友・大内・相良・松浦・島津ら西日本の戦国大名は、「天下統一」とは異なるもう一つの志向性を有していた。「アジア」との交易を意識し、乱世をグローバルに生きた彼らの領国経営から、戦国時代を国際的に再評価する。	鹿毛敏夫/著	吉川弘文館
293.8/モ/	フィンランドのおじさんになる方法。 フィンランドのおじさんに共通していることは、「ほんとうに、だいじなもの」を持ちながら、たのしく、一所懸命生きている姿。彼らに幸せの極意を学ぶ。	森下圭子/著	KADOKAWA
社会			
334.4/ミ/	脱出老人 恋人候補200人のナンパおじさん、19歳の妻とスラムで暮らす元大手企業サラリーマン…。幸せな最期を求めて「脱出」というアクションを起こした高齢者たちのルポルタージュ。	水谷竹秀/著	小学館
365.3/タ/	多縁社会 2.5世帯住宅という住まい方、0歳から89歳まで47人の他人が暮らす家、子育てをシェアするシングルマザーたち…。血縁・地縁・社縁だけではない縁のカタチを、さまざまな事例をもとに紹介する。	篠原聡子/著	東洋経済新報社
367.7/ニ/	2050年超高齢社会のコミュニティ構想 高齢化と少子化が進む2050年の日本。そのとき地域社会の鍵を握るのは「元気な高齢者」だ。かれらを中心に、多様な問題に対処し、誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくためのビジョンを提示する。	若林靖永/編	岩波書店
380.1/ム/	介護民俗学へようこそ! 民俗学の「聞き書き」の方法が介護現場を劇的に変えた！デイサービス施設で利用者への聞き書きを行っている著者が、人が人として尊重される介護のありかたを切り拓く。	六車由実/著	新潮社
自然科学・医学			
491.1/タ/	竹内先生の楽しくわかる解剖生理 人のからだにある“あな” からだの内外には多種多様な“あな”があいている。これらの“あな”を手がかりとして、人体のつくりと働きについて解説。学生から「わかりやすい」と人気の、著者の講義の模様も公開する。	竹内修二/著	ナツメ社
491.7/チ/	腸内フローラ10の真実 「腸内フローラ」ブームの火つけ役となったNHKスペシャルの番組制作者が、放送で伝えきれなかった真実を書き下ろした書。日々の暮らしに役立つお得情報から、私たちと細菌の深い関係まで、徹底解説する。	NHKスペシャル取材班/著	主婦と生活社
技術・家政、産業			
593.3/エ/	100円グッズでかわいいコスプレ 水切りネットで「妖精のドレス」、テーブルクロスで「エプロンドレス」、レインコートで「魔法使い」、水道パイプで「光の剣」…。100円グッズで作れる、かんたんステキな子どもの衣装を紹介する。	永高真寿美/著	主婦と生活社
659/セ/	けもの道の歩き方 人里に動物に出没するのは森の荒廃が原因か？自然は「手つかず」が理想か？自然はカラダにいいのか？狩猟採集生活の中で綴った20編のエッセイを収録。	千松信也/[著]	リトルモア

- 726.5/イ/ **イラストレーターの仕事がわかる本** グラフィック社編集部／編 グラフィック社
 仕事の基本から、「こんなときどうする？」まで。イラストレーターが仕事をしていく上で直面しがちなさまざまな悩みやトラブルと、そんなときに役立つ知識・心構えを、実際にプロとして活動する人たちの声をもとに紹介します。
- 751/ワ/ **焼き物質問箱** 和田和也／著 誠文堂新光社
 人間国宝に認定された最初の陶芸家は誰？「徳利」と「お銚子」はどのように違う？作品を窯で焼成するときの注意点は何か？知識から技法まで、焼き物に関する雑学を Q&A 形式で紹介する。
- 778.2/キ/ **新しい道徳** 北野武／著 幻冬舎
 日本人にとって「道徳」とは何か？この問いに答えられる親や教師はいるのだろうか。まず最初に大人たちが、真面目に考えた方がいい。北野武が現代の核心をえぐる、未だ嘗てない道徳論。
- 788.1/ス/ **相撲「通」レッスン帖** 伊藤勝治／監修 大泉書店
 力士になるには？相撲部屋ってどんなところ？番付表で何がわかるの？行司にも番付があるの？相撲の決まり手やルールから、土俵を支える行司・呼出・床山まで、相撲に関する 101 の疑問に、答えます。

言語

- 818/サ/ **滅びゆく日本の方言** 佐藤亮一／著 新日本出版社
 ハタガミ(雷)、キンカイモ(馬鈴薯)、オジャミ(お手玉)…。明治から昭和前期にかけて全国で使われていた、日本の伝統的な方言を中心に、分布(地域差)、由来、語形誕生の順序、日本語の歴史との関係などについて解説。

日本文学—小説

- 913.6/イ/5 **地上生活者 第5部** 李恢成／著 講談社
 あることで革命小説を書けなくなった愚哲は、西ドイツで亡命生活を強いられている人々の嘆きを知り、再起をめざすが、人生の新たな恋人との出会いを迎えることに…。
- 913.6/イジ/ **「いじめ」をめぐる物語** 荻原浩 ほか／著 朝日新聞出版
 中学2年生を担任する矢村琥代。彼女のクラスではいじめが起きているようで…。荻原浩「サークルゲーム」をはじめ、「いじめ」をテーマにした5つの短編を収めた競作アンソロジー。
- 913.6/ウチ/ **終わった人** 内館牧子／著 講談社
 仕事一筋だった田代壮介は定年を迎えて途方に暮れた。「まだ俺は成仏していない」と職探しをするが…。生き甲斐を求め、居場所を探して、惑い、あがき続ける男に再生の時は訪れるのか？
- 913.6/オン/ **消滅** 恩田陸／著 中央公論新社
 超巨大台風が接近し封鎖された空港で、別室に連行された11人(+1匹)。この中に、テロを計画する首謀者がいるという。閉鎖空間で緊迫の「テロリスト探し」が始まる！
- 913.6/キタ/ **中野のお父さん** 北村薫／著 文藝春秋
 新人賞候補者からの思いがけない一言は？大物作家宛ての手紙に愛の告白？若き体育会系文芸編集者の娘と、定年間近の高校国語教師の父が、出版界で起きた様々な「日常の謎」に挑む！
- 913.6/サク/ **霧(ウラル)** 桜木紫乃／著 小学館
 国境の街・北海道根室。有力者の娘・珠生が恋に落ちたのは、北の海の汚れ仕事を牛耳る相羽組の組長だった…。昭和30年代の根室を舞台に描く、桜木紫乃の記念碑的作品。
- 913.6/シマ/ **虚人の星** 島田雅彦／著 講談社
 戦争はすでに始まっている。国家の自殺を食い止めることはできるのか？7つの人格を持つ二重スパイと、血筋だけが取り柄の3代目首相。交互に明かされる諜報と政権の秘密。2人が交差する時、日本の命運が決まる。
- 913.6/ツジ/ **きのうの影踏み** 辻村深月／著 KADOKAWA
 幼稚園に通い始めた息子が「だまだまマーク」と言い始めた。ある日、年配の先生にその言葉について尋ねると、先生の表情が固まって…。辻村深月による“新しい怖さ”の怪談集。

913.6/ナガ/	悔いてのち	永瀬隼介／著	光文社
	あの日、妻に電話一本、メール一本入れていたらと悔やむ男。いつもとは様子の違った父親に、なぜもう一声掛けられなかったのかと後悔する少年。大切な人を亡くした2人の男と、大志を閉ざした男が出逢い…。		
913.6/ハタ/	うずら大名	畠中恵／著	集英社
	「御吉兆！」と鳴く勇猛果敢なうずらを連れた自称“大名”の有月。泣き虫で人に振り回されてばかりの村名主・吉之助。二人と一羽が幕府を揺るがす陰謀に挑む！		
913.6/ヒサ/	左近 上・下	火坂雅志／著	PHP 研究所
	大和国を治める筒井家にあつて、若くして侍大将になった島左近清興。しかし、永禄2年、松永弾正久秀が柳生宗厳を寝返らせて大和に攻め入ってきた。窮地に陥る筒井勢にあつて左近は…。		
913.6/ヤク/	A ではない君と	薬丸岳／著	講談社
	吉永の息子・翼が死体遺棄容疑で逮捕された。しかし翼は弁護士に話さない。吉永は少年法10条に保護者自らが弁護士に代わって話を聞ける「付添人制度」があることを知り…。		
913.6/モリ/	悪道 4 五右衛門の復讐	森村誠一／著	講談社
	影将軍を護る、忍者の末裔・流英次郎とその一統。巨大な敵が、天下太平の江戸に襲いかかる。石川五右衛門の亡霊か、改易大名の怨念か！シリーズ第4弾。		
日本文学—エッセイ			
914.6/ニシ/	まにまに	西加奈子／著	KADOKAWA
	嬉しくても悲しくても感動しても頭にきても泣けるといふ、喜怒哀楽に満ちた日常、愛する音楽・本への尽きない思い…。「サラバ！」で多くの人に“信じる勇気”を与えた西加奈子の6年分のエッセイがギュッと詰まった一冊。		
914.6/ムラ/	職業としての小説家	村上春樹／著	スイッチ・パブリッシング
	誰のために書くのか、どのように書くのか、なぜ小説を書き続けるのか、小説を書くための強い心とは…。村上春樹の自伝的エッセイ。		

展 示 の ご 案 内

■ 10 / 15 (木) ~ 11 / 8 (日) ■ 読書週間【10月27日~11月9日】 特集展 (本館1階)

読書週間です。あなたの知らない、さまざまな本に触れてみませんか？本の書き出しの一文だけを印刷した紙で包装して、展示します。中身は借りてからのお楽しみです。

■ 11 / 11 (水) ~ 11 / 26 (木) ■ 歴史と文化の香るまち 『兼山』展 (本館1階)

北に木曾川、南に国史跡の美濃金山城を望み、かつては商業のまちとして栄えた小さな地区『兼山』に息づく歴史と文化をご紹介します。手芸・写真・俳句など様々な手法を用いた作品群とパネル展示で兼山の魅力をお伝えします。(兼山公民館)

開館時間【本館】 平日 10:00~19:00、
土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日 (11月 2,9,16,23,27,30日)
※桜ヶ丘分館臨時休館 11月 1日 (日) 桜ヶ丘ハイツ秋まつりのため (当日は、桜ヶ丘公民館駐車場の使用もできません)



「図書館だより」2015年11月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川 (本館) 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。

10月15日よりホームページが新しくなりました！検索に補助機能が付き、書名や著者名が探しやすくなっています。予約のほか、「今度読みたい本」の登録もできます。